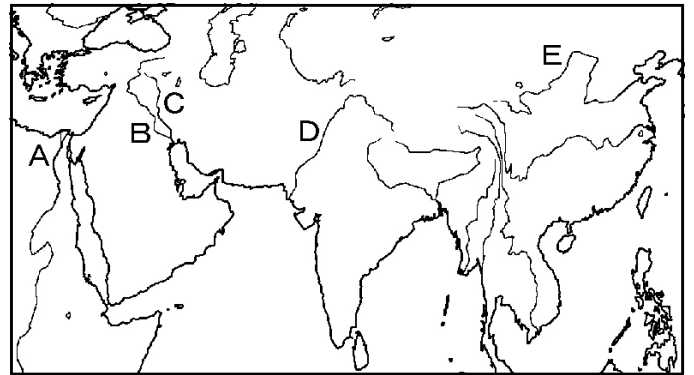


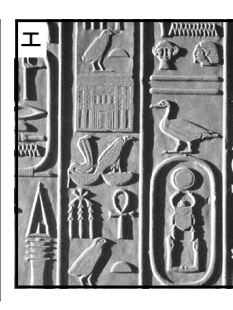
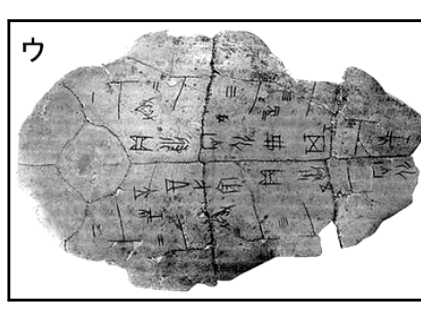
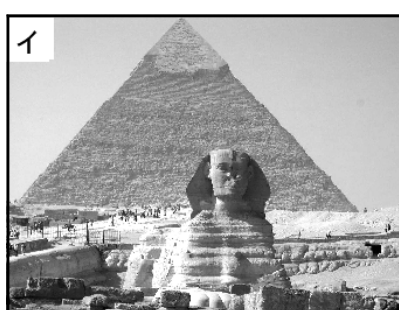
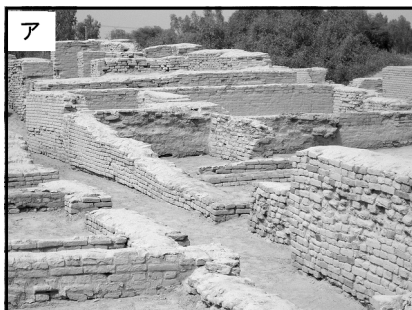
I 次の地図と、下の資料をよく見て、各問に答えなさい。

(資料活用技能)

- (1) 地図中のA～Eは古代文明に関わりの深い河川です。A～Eの河川名を答えなさい。
- (2) 河川Aの近くでおこった古代文明の名前を答えなさい。
- (3) 河川Bおよび河川Cの近くでおこった古代文明の名前を答えなさい。
- (4) 河川Dの近くでおこった古代文明の名前と、関係のある写真資料を下から2つ選んで、ア～ケの記号で答えなさい。
- (5) 河川Eの近くでおこった古代文明の名前と、関係のある写真資料を下から2つ選んで、ア～ケの記号で答えなさい。
- (6) 次のうち、河川と古代文明で生まれたものとの組み合わせで誤りはどれですか。記号で答えなさい。



- ア A河川、天文学、太陽暦、象形文字
 イ B河川とC河川、太陰暦、60進法、くさび形文字。
 ウ D河川、整備された道路・水路、バラモン教。
 エ E河川、ヒエログリフ、パピルス、陰陽道。



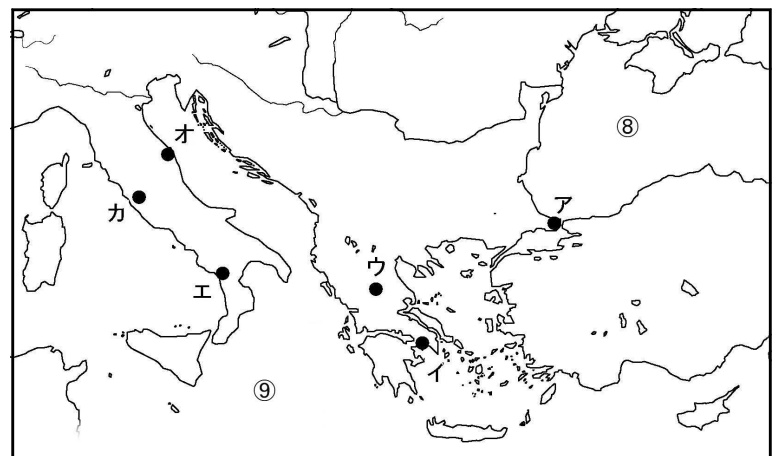
II 下の地図を見て、次の文を読み、各問に答えなさい。

(知識・理解)

ギリシャでは紀元前8世紀ころから、アテネやスパルタなどの数多くの(①)が独立した政治を行っていた。アテネでは、18歳以上の男性の市民だけが広場に集まって民会を開いて政治のやり方を決めていた。これをギリシャ人は(②)とよんだ。しかし、(③)や12万人もいた(④)は参加することは許されなかった。

紀元前4世紀になると、ギリシャは北方におこったマケドニアに征服された。その後、マケドニアの王(⑤)は、東方に遠征してエジプト、ペルシャ帝国、インダスを征服し大帝国をつくった。その結果、ギリシャの文化と西アジアの文化が合流することになり、新しい文化が生まれた。この文化を(⑥)という。

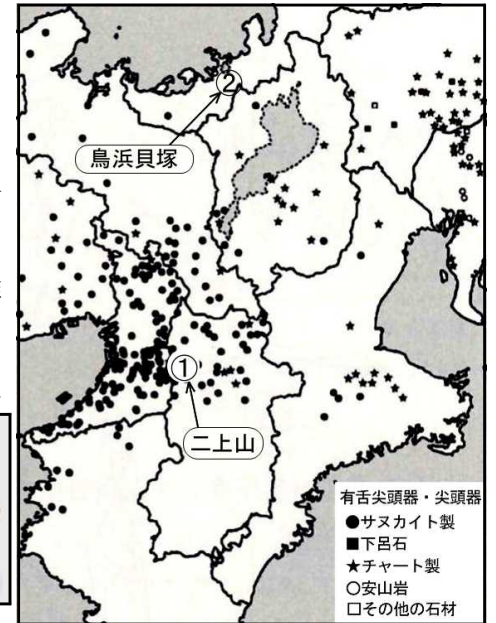
一方、紀元前3世紀に(①)ローマがイタリア半島を統一した。やがて、(①)ローマは、紀元前1世紀には広大な領土を支配する大きな国になった。この国を(⑦)という。



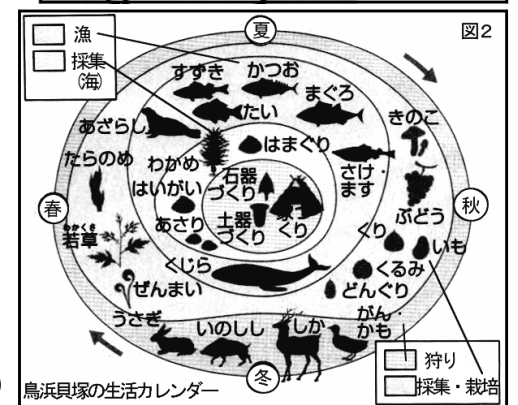
- (1) 文中の(①)から(⑦)にあてはまる適語を答えなさい。
- (2) アテネの位置は、地図上ではどこになりますか。地図のア～カの記号で答えなさい。
- (3) ローマの位置は、地図上ではどこになりますか。地図のア～カの記号で答えなさい。
- (4) 地図中の⑧と⑨には、海の名前が入ります。⑧と⑨の海の名前を答えなさい。

Ⅲ 次の地図は石器が発見された遺跡を示します。会話文を読んで、次の各問に答えなさい。(応用問題。社会的思考力・判断力)

サクラさん：遺跡から縄の文様がつけられた土器が出てくるって勉強したよ。
タロウ君：(A)のことだね。(A)が作られていた時代はとても長いんだ。
モモ子さん：(B)年も続いたって聞いたわ。その頃も刃物は石器だったみたいね。
ジロウ君：そうだよ。近畿地方の(A)の時代の遺跡から、たくさんサヌカイト製の石器
が見つかっているよ。それが地図の①の二上山のサヌカイトなんだ。
サクラさん：福井県の②の鳥浜貝塚からも、二上山のサヌカイトが出ているよ。直線距離
でも120km以上離れてるのに、石がどうやって移動したんだろう。
タロウ君：石器にする原石は、平均的なもので1個が2kgくらいの重さだよ。簡単に運べ
るようには思えないな。



モモ子さん：私は、(③)と思う。
ジロウ君：どうやら地域間の交流があったようだね。
サクラさん：この時代には、図1のような(C)が使われたよう
だ。石皿と磨石のセットだけど。何に使う道具だったんだろう。
タロウ君：外国の遺跡の道具と同じ形をしている。小麦を粉にするときに使ったんだ。
モモ子さん：小麦はまだ日本にはなかったわ。きっと(D)などの木の実を粉にしたのよ。
ジロウ君：(D)かあ。でも、秋にしか実らないよ。他の季節は何を食べたんだろう。
サクラさん：私は、(④)と思う。
タロウ君：すると、移動生活ではなく、定住生活をしていたと考えてもいいのかなあー。
モモ子さん：でも、定住生活をしたと考えるだけの証拠はあるんだろうか。
ジロウ君：ぼくは、遺跡から発掘された物が定住の証拠になると思う。たとえば、(⑤)
サクラさん：野生動物が小型化したり、木の実を食べるようになったことで何が変わったのかしら？
タロウ君：ぼくは、(⑥)と思う。



- (1) 会話文中の(A)、(B)、(C)、(D)にあてはまる適語を答えなさい。
- (2) モモ子さんの会話文の(③)に入れる文として、誤りがあるなど最も考えにくいのはどれですか。記号で答えなさい。
- ア 獣を追いかけて移動していた人たちが、奈良県の二上山で原石を打ち欠いて打製石器にしてから運んだ。
イ 二上山の近くのむらから、次のむらへ、そして、また次のむらにへとバケツリレーみたいに広がった。
ウ 先祖から教えてもらった道をたどって、奈良県の二上山まで取りに行った。
エ 二上山でサヌカイトを拾い集めて、それを売り歩く人がいた。その人が鳥浜貝塚の所まで行ったんだ。
オ 物々交換。サヌカイトの原石を持っている人と、自分の持っている食べ物などを交換して手に入れた。
- (3) サクラさんの会話文の(④)に入れる文として、誤りがあるなど最も考えにくいのはどれですか。記号で答えなさい。
- ア 木の実、秋に拾い集めて土の中に埋めて貯蔵したのよ。住居の近くで収集できるのはいいけど、穴を掘るのが大変。
イ 木の実、乾燥させてから、たたいて粒にして、川の水で30日ほどさらすとシブが抜ける。それを保存したんだわ。
ウ 図2を見ると、冬は住居の近くの山で狩りをして、うさぎ、しか、イノシシなど食べることが多かったのかなあー。
エ 図2を見ると、春は山菜を食べていたようだけど、あまり食べ物がいないから蓄えた木の実を食べたのかなあー。
オ 図2を見ると、夏には、まぐろやクジラを食べていたことがわかるわ。海に丸木舟で漁に出たみたい。
- (4) ジロウ君の会話文の(⑤)に入れる文として、誤りがあるなど最も考えにくいのはどれですか。記号で答えなさい。
- ア 一つの所から多くの打製石器が発見されることがある。一つの所に住んだ証拠だよ。
イ とても大きな貝塚が発見されることが多い。一つの所に住んだ証拠だよ。
ウ たて穴住居の跡が同じ所からたくさん発見されている。むらが作られるようになった証拠だよ。
エ 土器は一つ一つが大きくて、重いし、割れやすい。そんな物をたくさん持って移動なんかできないよ。
オ 石皿などは1個で2kg～4kgもあるんだ。そんな重い物をたくさん持って移動なんかできないよ。
- (5) タロウ君の会話文の(⑥)に入れる文として、誤りがあるなど最も考えにくいのはどれですか。記号で答えなさい。
- ア 住居の近くの山野で食べ物を採ったり、狩りをするのは男性の仕事で、女性は食べ物を料理するだけになった。
イ 土器を作ることは主に女性の仕事になった。危険性もあまりなく、強い腕力も必要ないから。
ウ 木の実で、生きるために必要な熱量(kcal)が確保できるようになると、男性は狩り以外の仕事ができるようになった。
エ 木の実を採集することは、女性や子どもでもできたので、食料を手に入れるのは男性だけの仕事ではなくなった。
オ 落とし穴にイノシシなどを追い込むことなら、女性や子どもでもできたので、女性や子どもも狩りに参加した。

Ⅳ 次のことがらの因果関係を考えて、原因から結果の順番にならばなさい。記号で答えること。 (社会的思考力・判断力)

- (1) ア 文化の飛躍的な向上 イ 文字の発明・統一 ウ 国家の誕生
(2) ア ヨーロッパで太陽暦が使用される イ ヘレニズム文化 ウ エジプトで文明おこる
(3) ア 古代ギリシャで戦争がくり返される イ オリンピアでの競技会 ウ 今日のオリンピック
(4) ア キリスト教がヨーロッパ全土に広がる イ 西アジアのききん ウ 西アジアに重税がかけられる
(5) ア 日本列島が誕生する イ 海面が上昇する ウ 第4氷河期(最後の氷期)の終わり

Ⅴ 次の文は、中国の古代文明のものです。文中の()に適語を入れて文を完成させなさい。 (知識・理解)

中国では、紀元前16世紀ごろに殷という国がおこった。この時代には、祭りに使われたと思われる優れた(①)や、漢字のもとになった(②)がつくられた。

殷は、紀元前11世紀には周によってほろぼされた。やがて周の支配力はしだいに弱まり、多くの国が争う戦乱の時代になったが(春秋・戦国時代、紀元前8世紀から紀元前3世紀)、諸国が国力を高めようとしたため、(③)の兵器や農具が広まり、農業や商業が発達した。また、紀元前6世紀ごろに(④)が説いた儒教のような新しい思想も生まれた。

紀元前3世紀には、秦の(⑤)が中国を統一する帝国をつくり上げた。秦は、北方の遊牧民の侵入を防ぐために(⑥)を築いたが、厳しい政治に対する反乱が広がり、統一後わずか15年でほろんだ。

かわって中国を統一した(⑦)は、紀元前2世紀の武帝のときには、朝鮮半島に楽浪郡などを設け、また中央アジアも支配下に入れて大帝国になった。このため、(⑧)が交易路としてでき、中国から絹織物などが西方にもたらされ、西方からは馬やぶどう、インドでおこった(⑨)などが中国に伝わった。

Ⅵ 次の文をよく読んで、自分の意見を作文にして説明しなさい。 (社会的思考力・判断力・表現力、関心・態度)

縄文時代の草創期(今から約12,000年前)のころ、鹿児島に住んでいた人々は、春から秋までは梶ノ原に住み、晩秋に移動して、冬から春までは掃除山に住んでいた。梶ノ原は山の北斜面にあり夏でも涼しく、掃除山は山の南斜面にあるので越冬地として都合が良かった。ただ、その間はおおよそ30kmほどあり、移動するには険しい山道を歩く必要があった。

冬が近づいてきた晩秋のある日、2人の兄弟が妻や子どもたちと一緒に2家族10人で、梶ノ原から掃除山に移動しようとしていた。昨年の冬には、兄弟の父親が掃除山で死んだので、そこで墓を作り葬った。その時、彼らの父親は30歳だった。今年は、32歳になる母親が「私は体の調子も悪いし、体も思うように動かないので、お前たちの足手まといになるだけだよ。お前たちの家族だけで向こうの山に行っておくれ。私はここで残るから」と言う。兄弟はどうするか相談した。厳しい冬がすぐにやって来る。結論を出すしかない。

さて、もし君が、そのような状況におかれた兄弟の一人だったら、どんな結論を出しますか。当時(縄文時代草創期)の状況をふまえて、自分の考えることを説明する文章を書きなさい。

2018年度 第1学年 歴史 1学期期末試験 解答用紙

I	(1)	A		B		C		D								
		E		(2)		(3)		(4)と(5)の写真は各1点。								
	(4)		写真		と		(5)		写真							
II	(1)	①			②			③			④					
		⑤			⑥			⑦								
	(2)			(3)			(4) ⑧			⑨						
III	(1)	A			B			C			D					
	(2)	(3)			(4)			(5)								
IV	(1)	→ →			(2)			→ →			(3)			→ →		
	(4)	→ →			(5)			→ →								
V	①				②				③							
	④				⑤				⑥							
	⑦				⑧				⑨							
VI																

第1学年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

I	II	III	IV	V	VI	合 計
資料活用 /24	知識理解 /22	思考判断 /16	思考判断 /10	知識理解 /18	態度 /10	
						/100